

7月24日の日経新聞に「太陽電池開発支援策拡大」という記事が出ています。

(要約)

- ・経済産業省は脱炭素技術の開発などを支援する「グリーンイノベーション基金」を活用した支援対象にタンデム型ペロブスカイト太陽電池を加える。
- ・タンデム型とはペロブスカイトと一般的なシリコン型の太陽電池や、ペロブスカイト同士など、電池を2枚以上重ねた新しい太陽電池を指す。
- ・ペロブスカイトは日本初の技術で、国際的な優位性が高く、カネカでもタンデム型太陽光パネルの研究開発を進めている。
- ・経済産業省は支援対象先の目標として、発電の変換効率30%超、耐久性を従来の太陽光パネルと同等の20年以上、住宅用発電コストを従来の太陽光パネルより低い1キロワット時あたり12円以下」などを求める。
- ・経済産業省は26年度以降、工場や店舗、学校などに屋根置き太陽光パネルの設置目標を定めることを義務付けている。こうしたことから屋根に設置する需要が広がることが想定され、タンデム型ペロブスカイト太陽光の実用化が期待されている。